

大阪市 中 教 研 会 報

No. 146

編集者 大阪市立中学校教育研究会
発行人 大阪市立中学校教育研究会
会長 上 田 健 二
発行所 大阪市立中学校教育研究会
大 阪 市 立 友 渕 中 学 校
TEL 06-6928-1970



『新しい概念や価値観とともに』

大阪市教育局事務局 指導部

初等中学校教育担当 乗 京 慎 二

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市中学校教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

会員の先生方におかれましては、各教科・領域での理論の構築と教育内容の調査・研究ならびに授業実践等に取り組まれるとともに、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、そのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、コロナ禍以降、教育の ICT 化が一気に進み、1 人 1 台端末や様々なソフトやアプリケーションを活用した授業が行われるようになってきました。これにより、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をいかに一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現していくのか、また、生徒の資質・能力の育成へどのようなにつなげていくのかが課題となっています。

また、最近の生成 AI の進化は目覚ましく、社会全体に大きな影響を与えており、学校現場でも、生徒の学力に与える影響も危惧され、その対応が急務となっています。

文部科学省においては、令和 5 年 7 月に「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」を示すなど、学校での教育活動における生成 AI の利用に関しても、議論が進みだしています。

生成 AI は、大量のデータを学習し、新しい情報やコンテンツを生成する能力を持つものであり、その発展は未知の領域への一步を示唆しているとも言われています。便利である反面、学校の教育活動で使用する際には、その目的を達成する観点で効果的かどうかを判断することが必要になり、限定的な利用から始めることが適切とされています。

本市においては、令和 6 年 3 月に中間見直しを行った大阪市教育振興基本計画の新たな施策として、生成 AI 等の先端技術の効果的な活用について、研究開発を推進していくことを追加しました。モデル事業を通

して実践研究を進めており、教員端末による校務、学習指導における有効活用の推進を図ったり、言語力や思考力を高める活用法が検討されたりしています。今後、生徒の「情報活用能力」の育成をすすめることで、将来的には生成 AI が教育現場で効果的に活用され、生徒たちがより豊かな学びを得ることができると考えられます。

急速に進むデジタル化に対応して、授業をはじめとする学びや生活の中で ICT をあらゆる教育活動の基盤として活用していく必要があります。そのため、学習者用端末の 1 人 1 台環境を活用した効果的な教育環境の実現のため、日々の持ち帰りを含めた学習者用端末の日常化が必要となります。

AI だけで育んでいくのは難しいとも言われる「考える力」や「学ぶ意思」を育んでいくためにも、皆様の長年にわたる研究の取組や成果の継承と研究活動のさらなる活性化を図っていくことが重要だと考えます。生徒一人一人が、ICT を活用するとともに、人との対話を通して、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考えを深めること、そこから、生きる力を高められるような授業の実践が、今後ますます重要になってくると考えます。

教育委員会といたしましては、「大阪市教育振興基本計画」に即した教育活動の推進に向け、引き続き大阪市立中学校教育研究会との緊密な連携を図るとともに、学力向上支援チーム事業により、各学校の課題や実態、ニーズに応じた支援を行ってまいります。また、教育課題の解決に向け、教育データを基盤とした調査分析の推進や専門的な知見を提供いただける企業や大学等との連携にも努めてまいります。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、「自ら学ぶ力」を育み、創造性豊かな個性あふれる子どもたちの育成をお願いいたします。



明日からの教育実践に向けて

大阪市立中学校教育研究会

副 会 長 大 政 和 彦

(宮原中学校)

大阪市立中学校教育研究会の会員の皆様には、平素より本研究会の活動にご理解いただき誠にありがとうございます。

さて、本研究会の最も大きな行事である全市研究発表会（令和 6 年 10 月 9 日）が近づいてまいりました。それに先立ち、8 月 28 日（水）・29 日（木）に各ブロック研究発表会が開催され、会員の皆様方が各教科・領域で積極的に研究活動や研修を進めていただきましたことに感謝申し上げます。

今年度の研究テーマは「持続可能な未来社会の創り手となる資質・能力の育成 ～ウェルビーイング・探求学習・総合的読解力～」であり、これを主題として、全市研究発表会では 16 部門で開催される予定です。

【数学部：8 月実施済、音楽部：11 月 12 日、保健体育部：11 月 22 日、道徳部：12 月 4 日、生活指導部：11 月 22 日、教育メディア部：12 月 2 日】

この全市研究発表会は、年に一度、午後の貴重な授業時間に、大阪市立中学校教育研究会 会員の先生方による研究成果を発表する場です。学習指導要領の前

文にも触れられているように教育基本法を踏まえて教育の目的及び目標の達成をめざしつつ、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。また、将来の予測が困難な時代において、一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっています。今年度の研究テーマと重ね合わせながら、教科・領域では、それぞれの課題解決に向けて研究や成果発表をしています。

この研究発表会を通じて、会員の先生方一人ひとりが、研究の発表や協議、講演会等で、さまざまな課題を共有し、課題解決に向けての教育実践に活かすことができると考えています。

特に 2 学期には学校行事が集中し、日々の校務に追われている中で、研究会の準備や研修を深める時間を確保することが困難に感じるかもしれませんが、ぜひ研究発表会に参加していただきますようよろしくお願いいたします。

新 ブ ロ ッ ク 委 員 長 の あ い さ つ

＝第 1 ブロック＝

「豊かな心の醸成と社会の変化や課題に対応できる資質・能力の育成」

委員長 西 村 有 里（築港中学校）

第 1 教育ブロックでは、研究主題を「豊かな心の醸成と社会の変化や課題に対応できる資質・能力の育成 —『新たな学び』の実践と交流—」として、各部門が研究活動に取り組んでいます。

8 月 29 日（木）には、それぞれの会場において、ブロック研究発表会を開催しました。ご準備をいただきました専門委員のみなさまに感謝を申し上げますとともに、実践発表・交流の場となつて、実り多い研究発表会となりましたこと、参加された会員のみなさまに感謝を

申し上げます。

今後も、子どもたちの個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をはかり、主体的・対話的で深い学びを通じて、豊かな心と社会変化に対応できる生きる力の育成をめざして、会員のみなさまが互いに教員としての資質や指導力の向上に努められる研究活動を充実させてまいりたいと思います。

みなさまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

＝第 2 ブロック＝

「主体的で、協働的な学び手を育む教育の創造」

委員長 松 田 正 也（董 中学校）

第 2 ブロックでは、タイトルにある主テーマに加えて「つながり」を生かした学びの場を通してというサブテーマを設定し研究活動を進めてまいりました。

8 月 28 日（水）のブロック研究発表会に向けては、各専門部門で研究・交流を行い、準備を進めていただきました。そして当日は、報告をいただいた発表者の方、

また貴重な講評や問題提起をしていただいた外部の助言者の皆様のおかげをもちまして、ブロック研究発表会は多くの成果を上げることができました。

参加された皆様にとっても、様々な発見や気づきも多かったことと思います。学校を取り巻く状況や環境

が比較的近似している近隣の各校の取り組みは、自校での明日からの授業や指導にすぐに反映させられるものもあったと思います。

今後もブロックの研究や交流を充実させ、各校の取り組みの前進につなげていくことを期待しています。

＝第3ブロック＝

「身につけるべき資質能力の育成」

委員長 安 藤 寛 (大領中学校)

一人ひとりが豊かで幸せな人生と持続的な社会の発展に向けて重要な役割を担っていることから、第3ブロックの研究主題を昨年に引き続き「豊かな心の醸成と持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成」・副題には、「新しい未来の姿を構想した実践交流」としています。各部門において身に着けるべき資質・能力を明確にし、どのように学んでいくかを研究して

まいります。

子どもたちが切り拓く新しい未来の姿を常に構想しながら、これまで以上に実りある教育実践の交流を目指して参ります。

今後とも、みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＝第4ブロック＝

「『新たな教師の学びの姿』の実現をめざして」

委員長 今 垣 清 彦 (田島中学校)

「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための資質・能力の育成 ～全ての人の可能性を引き出す教育の創造～」を研究主題とし、各教科・領域の専門委員の先生方にご尽力をいただき、新しい時代に相応しい研究活動に取り組んでいます。

「令和の日本型学校教育」における教職員集団の姿として、「教師自身が学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心を持ちつつ主体的に学び続けること、一人一人の教師の個性

に即して学校現場の課題に対応するための個別最適な学びや教師同士の学び合いなどを通じた協働的な学びを行うこと」が求められています。

「不登校・ICT活用・働き方改革」など喫緊の課題解決へ向けて私たちができることは、私たち自身が学び、成長し続けることであります。その意味からも本研究会の発展は、大きな意味を持ち、引き続き皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

令和 6 年度 大阪市内立中学校教育研究会 評議員会記録

【第3回】 令和6年7月8日(月) 16:00～
〈於：大阪市総合教育センター 10階研修室〉

評議員会及び会計説明会

〈会計説明会〉

- (1) 令和6年度 会計予算・執行・決算について
- (2) 教育センター直接執行分について
- (3) 資金移管日時等について

〈評議員会〉

- (1) 全市研究発表会・ブロック研究発表会について
- (2) その他
 - ① 役員、専門委員一覧表について
 - ② 全国・近畿大会予定について
 - ③ 部門別研究主題、ブロック別研究主題及び研究発表会予定日一覧について
 - ④ 中教研会報No.145号の原稿作成について

【第4回】 令和6年8月26日(月) 16:00～
〈於：大阪市総合教育センター 9階研修室〉

- (1) 全市研究発表会【10月9日(水)】について
- (2) ブロック研究発表会について
- (3) 研修計画について
 - ① 全体研修会【11月14日(木)】15:30～17:00
 - ② 評議員研修会【1月24日(金)】16:00～17:00
- (4) 研究集録『研究の歩み』『会報』の作成について
- (5) 小中一貫教育について
- (6) その他
 - ① 会計事務連絡
 - ② ホームページについて
 - ③ 連絡事項

令 和 6 年 度 研 究 発 表 会

10 月 9 日 (水) 14:00 ~ 17:00

部 門	研 究 主 題	内 容	会 場
1. 国 語	『生きる力』としての 国語力の育成 － 自分の思いや考えを深める 言語活動の充実 －	- 公 開 授 業 「動物園でできること」 友 渕 中 古 川 良 平 - 研 究 発 表 『『トロッコ』の授業 －円環する語りの構造を読む－』 中之島中 広 瀬 章 子 - 研 究 協 議 - 指 導 助 言 大阪市総合教育センター 指導主事 田 邊 宜 雅 様	友 渕 中
2. 社 会	「一人ひとりの未来に つながる社会科の創造」 ～ 問い・探究、 そして参画へ～	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 公 開 授 業 ・ 公民的分野 「現代の民主政治」 真 住 中 仲 美由紀 - 各分野研究発表 - 講 演 龍谷大学法学部 教授 中 本 和 彦 様	真 住 中
4. 理 科	「理科の見方・考え方を 働かせて、未来を創造 する資質・能力を育む 理科教育」	- 公 開 授 業 「生物のからだのつくりとはたらき 3 章 動物のからだのつくりとはたらき」 八 阪 中 中 村 俊 樹 - 研究協議、質疑応答 本日の公開授業について 八 阪 中 中 村 俊 樹 - 指導助言・講話 同志社大学経済学部 准教授 原 田 禎 夫 様 - 報 告 事 項 - あ い さ つ 大阪市総合教育センター 学力向上支援・調査分析 指導主事 山 内 隆 弘 様	八 阪 中
6. 美 術	「造形的な見方・考え方を 働かせるための学習をめざす」 ～美術が果たす役割を 実感させるために～	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 研 究 発 表 「発信！大阪〇〇リーフレットづくり！ ～魅力を豊かに伝えよう～」 中之島中 朝 倉 大 揮 「ブロックで表す未来の自分」 大 淀 中 和 田 守 弘 - 研 究 協 議 - 指 導 講 評 奈良教育大学 美術教育講座 教授 竹 内 晋 平 様 大阪市総合教育センター 指導主事 東 影 美 香 様	中之島中 ・ 研究パネル 展示
8. 技 術 ・ 家 庭	「いのち輝く未来社会を 実現（創造）する 技術・家庭科教育」 ～深い学びへと導く、見方・ 考え方を働かせた実践～	- 研 究 発 表【技術分野】 「解の再考ワークシートを活用した授業実践の成果」 大正東中 鈴 木 朋 宏 - 授 業 実 践 紹 介【家庭分野】 「地域と連携した調理実習の展開」 「生徒の技能に応じたバッグの製作」 田 島 中 橋 本 美 恵 - 質 疑 応 答・研究協議 - 指 導 助 言 大阪市総合教育センター 指導主事 橋 本 航 様 仲 西 優 子 様	城 東 中
9. 英 語	「4 技能 5 領域の 総合的な能力向上」 －2025大阪万博でコミュニケー ションが取れる生徒の育成 をめざして－	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 研 究 授 業 「4 技能のバランスを重視した指導」 東我孫子中 立 石 雄 一 - 研究授業の振り返り - 講 演 関西大学 外国語学部 教授 田 尻 悟 郎 様 - 質 疑 応 答 - あ い さ つ 大阪市総合教育センター 指導主事 打 矢 昭 宏 様	東我孫子中 13:30 受付 14:00 開始 ※上履き必要

11. 特別活動	「生徒一人ひとりが主体的に 生きる特別活動の創造」 社会的・職業的自立に向け て必要な基盤とする基礎的・ 汎用的能力を育成するキャ リア教育 ～産官学連携・異学年交流を 取り入れたカリキュラムの構築～	「がんばる先生支援事業」研究発表会 1. 【キャリア教育】 ご講演とキャリア教育施設見学 講師 大阪企業家ミュージアム 廣 田 雅 美 様 ・～学校活性化事業「がんばる先生支援」グループ B 研究発表～ 全国進路指導・キャリア教育研究大会報告 白 鷺 中 江 角 俊 幸 2. 【生徒会活動】 ・～学校活性化事業「がんばる先生支援」グループ B 研究発表～ 「第 68 回 全国特別活動研究協議大会東京大会」報告 ・第 7 分科会報告 「一人一人の自覚や責任感に基づき、協力して健全な生活や社会をつくる学級活動」 墨江丘中 石 田 弘 樹 ・第 8 分科会報告 「学校生活の充実と向上に向けて自主的・実践的に課題を解決する生徒会活動」 白 鷺 中 泉 和 樹 ―― 時 程 ―― 1. 挨拶・研究主題 2. 全国進路指導・キャリア教育研究大会報告 3. 全国特別活動研究協議大会報告 4. キャリア教育ご講演・研究討議 5. 指導助言 大阪市総合教育センター 指導主事 當銘 真衣子 様 6. 挨拶 7. 常設展示見学	大阪企業家 ミュージアム (定員41名)
13. 特別支援教育	「子どもたち一人一人が、 共に学びに向かい 生 きる力を育む教育をめ ざして」	・研 究 発 表 ・大正西中学校の自立活動 ～職業体験を経て～ 3 B 大正西中 宮 崎 泰 成 賢 ・桃谷中学校での日ごろの取組 4 B 桃 谷 中 岡 本 賢	花乃井中 (オンライン配信)
14. 保健養護	「養護教諭の専門性と 資質の向上をめざして」	・第 1 教育ブロック (b 淀川区・東淀川区) 共同研究 「GIGA スクール構想 養護教諭の ICT 活用指導力の向上をめざして」 三 国 中 西 苑 実 新東淀中 多治比 のぞみ 大 桐 中 林 久留実 ・講 演 「養護教諭の ICT 活用一今までとこれから」 京都女子大学 心理共生学部 心理共生学科 教授 大 川 尚 子 様 ・研 究 協 議 ・指 導 講 評 大阪市教育委員会 指導主事 鈴 木 真 美 様	やたなか 小中一貫校 矢田南中 保健養護部員 のみ参加
15. 情報技術	「カリキュラム・マネジメントの 充実をめざして」 ～新学習指導要領を見すえ、 社会に開かれた教育課程の確立～	・研 究 発 表 (1) 統計教育部門 「総務省統計局等が実施する講習会から」 玉 津 中 槌 田 祥 孝 阪 南 中 小 寺 英一朗 大正東中 山 崎 真 史 (2) 新聞教育部門 「N I E 教育について」 淀 中 林 葉 子	大阪市総合 教育センター

10 月 9 日の全市研究発表会以外の日に実施された又は実施される部門

8 月 1 日 (木)・2 日 (金)

3. 数 学	「すべての子どもが輝く算数・ 数学教育をめざして」	・第106回全国算数・数学教育研究（大阪）大会 ・第 71 回近畿算数・数学教育研究（大阪）大会	大阪国際 会 議 場 大阪府立 ビジネス フロンティア 高等学校
--------------	------------------------------	--	---

11 月 12 日 (火)

5. 音 楽	「音楽的な見方・考え方を働かせ、 感性を育む音楽教育」 ～主体的・対話的で 深い学びの実現に向けて～	・公 開 授 業 創作「日本らしさを感じ取れる歌をつくろう」 蒲 生 中 木 村 夏 実 喜 連 中 川 西 孝 亮 ・研 究 協 議 ・質 疑 応 答 ・指 導 助 言 大阪芸術大学 特任教授 小牟田 啓 様 大阪市総合教育センター 指導主事 乾 正 義 様 ・あ い さ つ 安 藤 寛 (大領中学校)	蒲 生 中
--------------	---	---	-------

11 月 22 日 (金)

7. 保健体育	「保健体育の授業における学習意欲を引き出し学びの質を高める」 — 陸上競技（長距離走）の指導方法の研究 —	◦ 公 開 授 業 「陸上競技（長距離走）」 大和川中 有 田 孝 承 ◦ 研 究 協 議 ◦ 指 導 講 評 大阪教育大学 准教授 井 上 功 一 様 ◦ 指 導 助 言 大阪市総合教育センター 統括指導主事 鈴 木 慶 浩 様	大和川中
------------	--	--	------

11 月 22 日 (金)

12. 生活指導	「生徒指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する」	★11月 22日 (金) に第104 回近畿中学校生徒指導研究協議会「大阪大会」と兼ねて開催 ◦ 講 演 「生徒の『やった！』『できた！』を増やす ポジティブ行動支援」 大阪教育大学 准教授 庭 山 和 貴 様 ◦ 研 究 発 表 「PBS 実践報告」 此 花 中 上 田 奏 三 稜 中 尾 山 一 誠 天 満 中 嘉 名 勇 介 十 三 中 鳥 飼 正 葵	港区土地区画整理記念・交流会館 7 階 区民ホール 受付 10 時 開始 10 時半
-------------	--	--	---

12 月 2 日 (月)

16. 教育メディア	「『生きる力』と『感動する心』をはぐくむ教育メディアの研究」 ～学校図書館、放送・視聴覚教育を通して～	◦ 第 56 回 大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会と兼ねて開催する。 12 月 2 日 (月) 15:00～ ◦ 実 践 発 表 小学校・中学校 ◦ 講 演 講師 古 山 拓 様 (画家・イラストレーター) ・詳細は後日連絡	大阪市総合教育センター
---------------	--	---	-------------

12 月 4 日 (水)

10. 道徳	「多面的・多角的な視点で考え、議論する道徳教育の創造」 — グループワークを取り入れ言語力を育てる道徳科授業づくり —	○ 第 20 回 大阪府中学校道徳教育研究発表会「大阪市大会」 兼大阪市内立中学校教育研究会 道徳部研究発表会 ◦ 公 開 授 業 12 月 4 日 (水) 11 時 40 分～ 「風に立つライオン」 (あかつき教育図書 中学校 3 年㉓) 市 岡 中 加 納 輝 江 「虹の国 —ネルソン・マンデラー—」 (あかつき教育図書 中学校 3 年㉔) 港 南 中 出 来 亮 太 ◦ 全 体 会 12 月 4 日 (水) 13 時 50 分～ ・大阪市の取組みについての研究発表 市 岡 中 加 納 輝 江 港 南 中 出 来 亮 太 新北島中 岡 田 芳 和 ◦ 記 念 講 演 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 井 上 結香子 様	市 岡 中 港 南 中 港区土地区画整理記念・交流会館 大ホール
-----------	--	--	--